

【感染性胃腸炎の集団発生について（県）】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yobo/kiki/yobo/kansen/idwr/press/documents/20171214siryou.pdf>

【感染性胃腸炎について（県）】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/documents/icyouen.html>

【ノロウイルスについて（県）】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/other/norovirus.html>

【リーフレット「ノロウイルスに注意」（県）】

http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/documents/noro-leaf_2.pdf

【ノロウイルスに関する Q&A（国）】

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-Shokuhinanzendu/0000129187.pdf>

【社会福祉施設等における感染症など

発生時に係る報告について（国）H17年2月22日】

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/norovirus/dl/h170222.pdf>

◆インフルエンザについて

銚田保健所管内において、1 定点あたり第 48 週の報告はなく、第 49 週 0.60 と報告がありました。

県において、1 定点あたりの報告数は、第 48 週 1.28（国 2.58）第 49 週 2.53（国 4.06）となり、県・国共に増加しています。

保健所管内別では、筑西保健所管内が 6.50 と最も高く、次いで

つくば保健所管内が 4.60, 常総・古河保健所管内が 3.75 となっており、12 保健所中 10 保健所管内で 1.0 以上となっています。

インフルエンザは、先週流行入りし、今後も増加が続くと予想されるので、注意が必要です。

＜県衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出件数＞

期 間：H29 年 9 月 4 日から H29 年 12 月 10 日まで

検 体 数：39 検体 [昨シーズン]

検体内訳：AH3 (A 香港型) 6 検体 [15.38%] [75.6%]

AH1pdm09 32 検体 [82.05%] [8.1%]

B 型 1 検体 [2.56%] [16.3%]

また、国より「抗インフルエンザウイルス薬の処方の有無、種類にかかわらず、異常行動についての注意喚起を徹底することが適当」と通知がありましたので、各医療機関等でインフルエンザ罹患時の対応について、患者等にご説明いただきますようお願いいたします。(H29 年 11/27 国通知参照)

【インフルエンザ流行情報について (第 2 報)】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/documents/2017sflureport02.pdf>

【インフルエンザ流行情報および

学級閉鎖等措置・集団発生等の状況について (第 5 報) 県】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/documents/2017flu05.pdf>

【「みんなで予防！インフルエンザ」 (県)】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/documents/2017fluibaraki.jpg>

【咳エチケットしていますか (県)】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/documents/sekia4.pdf>

【できていますか？正しい手洗い（県）】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/documents/tearaia4.pdf>

【インフルエンザ Q&A（厚生労働省） H29 年 11/15 時点】

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/ga.html>

【抗インフルエンザウイルス薬の使用上の

注意に関する注意喚起の徹底について（国通知） H29 年 11/27】

<http://www.hourei.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T171128I0010.pdf>

◆A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

銚田保健所管内において、1 定点あたり第 48 週 0.33、
第 49 週 0.33 と横ばいで推移しています。

県において、1 定点あたりの報告数は、第 48 週 2.92（国 2.88）
第 49 週 3.16（国 3.07）となり、県・国共に増加しており、
県においては、3 週連続で増加しています。昨年同期と比較
しても若干高く、注意が必要です。

保健所管内別では、潮来保健所管内が 9.60 と最も高く、次いで
古河保健所管内が 6.60 となっています。

【A 群溶血性レンサ球菌感染症（県）】

http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/other/documents/agon_1.pdf

【A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは（国立感染症研究所）】

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/340-group-a-streptococcus-intro.html>

◆年末年始における海外での感染症予防について（H29 年 12 月 1 日）

厚生労働省より、標記について通知がありました。

年末年始には、多くの方が海外へ渡航されることが予想されますので、海外滞在中に感染症にかかることなく、安全で快適に旅行し、帰国することができるように、海外で注意すべき感染症及びその予防対策をお知らせします。

<海外での感染症予防のポイント>

- ・海外で感染症にかからないようにするために、感染症に対する正しい知識と予防に関する方法を身に付ける。
- ・渡航先や渡航先での行動によって異なりますが、最も感染の可能性が高いのは食べ物や氷を介した消化器系の感染症です。
- ・日本で発生していない、動物や蚊・ダニなどが媒介する病気が海外では流行していることがあり、注意が必要。
- ・世界保健機関（WHO）が排除又は根絶を目指している麻しん（はしか）風しん及びポリオは、日本での患者は減少傾向又は発生していないものの、海外では感染することがあり注意が必要です。

【年末年始における海外での感染症予防について（H29年12月1日）】

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel-kansenshou.html

●感染症サーベイランス情報

【県内の保健所別報告数】

（第49週 12月4日～12月10日）
数累計）

（2017年第49週までの報告

結核	5件（銚田0件，他5件）	県	445件，	全国	21352件
レジオネラ症	1件（潮来）	県	49件，	全国	1667件
アメーバ赤痢	1件（古河）	県	15件，	全国	1007件

梅 毒 3 件（水戸，日立，筑西） 県 52 件， 全国 5409 件

★ 当メールの内容についてのお問い合わせは下記までお願いします。

茨城県鉾田保健所 健康指導課

E-Mail : hokoho03@pref.ibaraki.lg.jp [TEL:0291-33-2158](tel:0291-33-2158)

*****鹿行地域感染等対策ネットワーク

【事務局】

土浦協同病院

なめがた地域医療センター

〒311-3516

行方市井上藤井 98-8

[TEL:0299-56-0600](tel:0299-56-0600)

FAX:0299-374111

|

茨城県鉾田保健所

|

〒311-1517

鉾田市鉾田 1367-3

[TEL:0291-33-2158](tel:0291-33-2158)

FAX:0291-33-3136
